

運動部活動の地域移行に係る市民のスポーツ環境に関する将来像(案)

【本市の課題】今後の地域スポーツの振興に向けて

- 幼児・児童生徒の減少（若者の競技人口の減少）及び指導者の高齢化等、人材不足への対応
- 中学校の部活動地域移行への対応
(R13以降の次期学習指導要領では、「部活動」の位置づけが変更となる可能性あり)
- 生涯スポーツの視点、競技スポーツの視点による、市民のスポーツ環境の再編整備（幼少期から青年期、壮年期、高齢期までのスポーツ環境の構築による人流づくり）
- 市民スポーツに係る大学、企業スポーツ・プロスポーツ等との連携

【本市の対応】

- 部活動の地域移行を含めた酒田市独自のスポーツ環境の整備
- ◎可能なところから、各中学校区を基本とし、休日の部活動を地域の諸団体との連携による運営に移行
 - ◎将来的には、生涯スポーツ及び競技スポーツの視点により、各中学校区の運営団体を整理・統合

各中学校区の拠点等
R8以降

生涯スポーツの視点

＜誰でも気軽にスポーツ等に親しむ＞

- 総合型地域スポーツクラブ等が拠点
(一部、各校クラブやスポーツ少年団による運営)

総合型地域
スポーツ
クラブ等



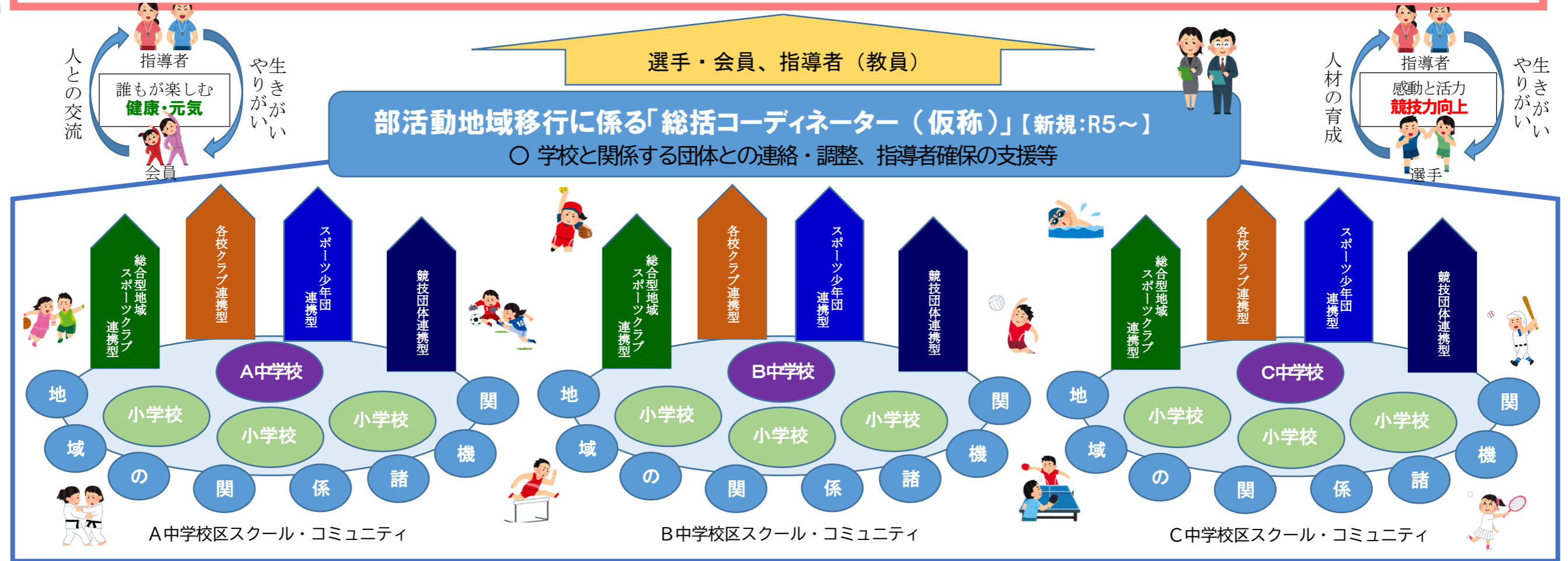
競技スポーツの視点

＜専門的指導によるアスリート育成＞

- 各競技団体による活動拠点づくり及び支援
(一部、各校クラブやスポーツ少年団による運営)

大学・企業、
プロスポーツ

R7
可能なところから、各中学校区を基本に
R5



※ 種目によっては、令和5年度から複数の中学校区による連携についても検討・試行(実施)する。